

日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌 論文投稿規程

1. 本雑誌は一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会が発行する機関誌（略誌名：日摂食嚥下リハ会誌）であり，年1回以上発行する。
2. 本誌への投稿は本学会員に限る。但し，会員でない者が共著者となる場合には，臨時会員とし1,000円を著者が学会事務局に一括納入するものとする。投稿論文は他誌に発表掲載していないものに限る。
3. 本雑誌の内容は原著，総説，短報，症例報告，臨床ヒント，Letter to editor，特集，本学会関連記事および編集委員会が認めたその他のものを掲載する。臨床研究は患者のプライバシー保護に十分考慮すること。
4. 原著，総説は原則として本文12,000字程度（25字×30行×16頁），図表10枚以内とする。
短報は原則として本文6,000字程度（25字×30行×8頁以内），図表5枚以内とする。
症例報告は原則として本文6,000字程度（25字×30行×8頁以内），図表10枚以内とする。
臨床ヒントは原則として本文4,000字以内（25字×30行×5頁程度），図表3枚以内とする。
Letter to editorの本文は原則として本文1,200字以内，図表1枚以内とする。
なお，本文とは論文表題，著者名，所属，略題，邦文抄録，英文抄録，引用文献，図表の説明，著者への連絡先を除いたものをさす。
5. Letter to editorは本誌に掲載された論文に対する意見や質問，およびそれに対する論文著者の返答を取り扱う。総説，特集およびその他編集委員会が認めたものは，編集委員会の依頼によるものとする。
6. 原稿の書き方は下記の要領とする。
 - 1) 原稿は和文で，ワードプロセッサを使用してA4判用紙に12ポイント，25字×30行で横書きに印字し，頁番号を必ず入れる。
 - 2) 原稿第1枚目を表紙とし，論文表題（対訳英文をつける），著者名（ローマ字表記をつける）と所属，略題（30字以内）を書く。所属は必ず公式の和文および英文名称を記載する。Letter to editorの表紙には，著者名と所属，対象となる掲載論文の表題，巻，最初と最後の頁，年号（西暦）を書く。
 - 3) 原著，総説，短報，症例報告には800字以内の要旨およびKey words（3～5語）を記載した邦文抄録を表紙の次頁につける。また，原著，短報，症例報告では表題（25語以内），著者名，所属機関名，400語以内の要旨，Key words（3～5語）を記載した英文抄録を邦文抄録の次頁につける。
 - 4) 原著，短報は，緒言，対象（材料）と方法，結果（成績），考察，結論，文献の順に記載する。症例報告は，緒言，対象，経過，考察，結論，文献の順に記載する。
 - 5) 表，図（写真を含む）はそれぞれ用紙サイズをそろえて図表毎に1枚ずつ作製し，表または図毎に通し番号を付け，本文の後にまとめる。また，印刷寸法，カラー印刷，トレースを希望する場合には，それを本文欄外に朱書きする。
 - 6) 文献は引用箇所し肩番号を付け，本文の末尾に引用順に並べて番号順にまとめて記載する。同一箇所ので複数引用した場合には年代順に並べる。
例：…の報告がある^{2,3,9)}。…の報告がある¹⁻⁸⁾。
文献は下記の例に従って記載する。
 - a) 雑誌の場合
著者名（共著者名は原則として，3名を超えた場合はそれ以上の著者名を“他”とする）：論文表題，雑誌名，巻：最初と最後の頁（通巻頁とする），年号（西暦）の順に記載する。通巻頁のないものは号を記す。学会の抄録を参考にしたときには（抄）を付記する。雑誌名は当該誌が標榜する略誌名を使用する。それ以外の場合は，日本自然科学学術雑誌総覧（日本医学図書館協会編，学術出版会刊）およびList of Journal Indexed in Index Medicus (U.S. Government Printing Office, Washington D.C.)に準拠する。
例) 植田耕一郎，向井美恵，森田学，他：摂食・嚥下障害に対する軟口蓋挙上装置の有効性，日摂食嚥下リハ会誌，17：13-23，2013。
例) Rosenbek JC, Roecker EB, Wood JL, et al: Thermal application reduces the duration of stage transition in dysphagia after stroke, Dysphagia, 11: 225-233, 1996.
 - b) 単行本の場合
1. 著者が執筆した単行本の頁から引用する場合
著者名：書名，出版社，発行地，発行年（西暦），引用頁の順に記載する。
例) 植田耕一郎：脳卒中患者の口腔ケア，医歯薬出版，東京，2008，124-140。

2. 単行本の編集者（監修者）とは別の著者が分担執筆した頁から引用する場合

著者名：タイトル（著者の執筆した章など），編集者（監修者）名，書名，出版社，発行地，発行年（西暦），引用頁の順に記載する。

例）山田好秋：摂食・嚥下機能の生理，才藤栄一，向井美恵監修，摂食・嚥下リハビリテーション第2版，医歯薬出版，東京，2007，51-61.

c) Web サイトの場合

著者名：Web 頁の題目，Web サイトの名称，入手先，参照日付. の順に記載する。

例）日本摂食嚥下リハビリテーション学会医療検討委員会：嚥下内視鏡検査の標準的手順，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，http://www.jsdr.or.jp/doc/doc_manual1.html，参照日 2013.4.30.

7) 倫理規定

臨床研究は，世界医師会によるヘルシンキ宣言に示された倫理規範を遵守しなければならない。また，文部科学省及び厚生労働省が提示する「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（または「臨床研究に関する倫理指針」，「疫学研究に関する倫理指針」）を遵守しなければならない。動物実験は医学生物学的研究に関する国際指針の勧告に準拠する必要がある。また，当該施設に倫理委員会等がある場合には承認を受け，その旨を本文中に明記しなければならない。同時に，患者または被験者の人権を損なうことのないよう十分な配慮が必要であり，個人情報保護に留意した記述でなければならない。

8) 利益相反（conflict of interest, COI）の開示

初回投稿時に学会が規定する COI および著者が必要と判断した COI について，「投稿論文に関わる利益相反（COI）自己申告書」（過去1年間）に記載して提出する。併せて，日本摂食嚥下リハビリテーション学会が規定する全著者の COI を論文末尾（引用文献リストの前）に明記する。COI がいない場合においても，「本稿の全ての著者には規定された COI はない」等を明記する。「投稿論文に関わる利益相反（COI）自己申告書」は当学会ホームページからダウンロードして使用する。

9) 原稿の終わりに「著者への連絡先」として，代表者氏名，住所，電話番号，Fax 番号，e-mail アドレスを記載する。

10) 論文の送付

論文投稿時には，下記のを編集担当者宛に送付する。

1. 正原稿

2. 副原稿

3. 表題，要旨，Key words，著者名，所属機関名が記載された文書（原著，短報，症例報告投稿時のみ）

4. 投稿票，投稿チェックリスト，承諾書，利益相反（COI）申告書

ただし，副原稿とは，査読委員に送付するための原稿であり，正原稿の中で著者を判別可能とする表記（表紙の所属，著者名，脚注，連絡先，文中の大学名，病院名，所属名を含んだ倫理委員会通過の表記，謝辞等）を査読に支障がない範囲で削除ないしマスキングしたものとする。

a) 電子メール投稿の場合

必要書類を編集担当者宛てに e-mail で送付する。正原稿，副原稿については Microsoft 社の Word (DOCX) または PDF 形式で保存したものとする。図表については，解像度は 600 dpi 程度が望ましく，Microsoft 社の PowerPoint (PPTX)，Excel (XLSX)，Word (DOCX) または PDF 形式で保存したものとする。ただし，解像度の低下により判別が難しくなるものについては，JPEG または TIFF 形式で別に保存したものとする。また，原著，短報，症例報告投稿時には，表題，要旨，Key words，著者名，所属機関名が記された Word (DOCX) または PDF 形式の文書も一緒に送付する。なお，すべてのファイルの合計は 10 MB までとする。

投稿票，投稿チェックリスト，承諾書および利益相反（COI）申告書については，必要事項を記載し，編集担当者宛に郵送または FAX にて送付するか，PDF 形式で保存したものを電子メールで送付する。

b) 郵送の場合

正原稿 1 部と副原稿 3 部，投稿票，投稿チェックリスト，承諾書，利益相反（COI）申告書を編集担当者宛に送付する。また，原著，短報，症例報告投稿時には，表題，要旨，Key words，著者名，所属機関名を Microsoft 社の Word (DOCX) または PDF 形式で保存した CD-R を同封する。

編集委員会で採択が決定した後の通知に基づき，図表を含む最終原稿の提出の際は CD-R を添付する。CD-R の入力・投稿時の留意事項は別紙「CD-R の添付について」に記載する。

表 原稿のページ割り

	ページ割り	電子メール投稿の場合
表紙	ページ 1	DOCX, PDF 形式
邦文抄録	ページ 2 以降	
英文抄録		
本文	抄録の後	
利益相反 (COI)	本文の後	
引用文献	利益相反の後	PPTX, XLSX, DOCX, PDF または JPEG, TIFF 形式
図表, 図表の説明	引用文献の後	
著者への連絡先	原稿の最後	

11) Letter to editor の送付

Letter to editor 投稿時には、下記のものを編集担当者宛に送付する。

1. 原稿
2. 投稿票, 承諾書

なお、送付方法については論文の送付方法に準ずる。

7. 論文および Letter to editor の採否

論文内容については当学会評議員による査読結果およびその後の著者による修正結果をもとに、編集委員会で採否を決定する。Letter to editor については、編集委員会にて妥当と判断された場合、原則として該当

する論文著者の返答とともに掲載する。ただし、編集委員会の判断で修正を要請することもある。

8. 印刷費および英文校閲費について

- 1) 原著、短報、症例報告は刷り上がり 3 頁までは無料とし、それを越えた分については著者負担とする。
- 2) 総説、Letter to editor、特集などは無料とする。
- 3) 英文校閲希望者の校閲費は著者負担とする。希望しない場合は専門家による校閲を受けた英文抄録と校閲者のサインを提出する。
- 4) 別刷は 50 部を単位として受付け、これにかかわる費用は著者負担とする。

9. 著作権について

本誌掲載後の論文の著作権は、一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会に帰属し、掲載後は本学会の承諾なしに他誌に掲載する事を禁じる。

10. 論文送付先

〒 113-0032

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

一般財団法人 学会誌刊行センター

室 健次郎

Tel: 03-3817-5821 Fax: 03-3817-5830

e-mail address <k-muro@capj.or.jp>

CD-R 添付について

1. 対応機種

- CD-R を有するパソコンに対応します (windows または mac)。

※ DOC, PDF もしくはテキストファイル形式で保存してください。その際、A4 用紙に出力した原稿、図表を 1 部添付してください。

※ 図表や写真は、固有の文章ファイルに直接貼り付けたり、リンクさせている場合でも、そのままでは印刷用の組版では再現できません。必ずオリジナルのものを別のファイルとして添付してください。

2. テキストファイルの変換等について

- 文書ファイルは編集作業上、テキストとして扱われま。せつかくワープロソフト上で作成したルビや罫線、図形、表組レイアウト情報などはそのまま生かれません。

- 特殊表記・数式・手書き原稿の挿入・写真・図面等の指示などを、大きく朱書きでワープロ出力紙に書き添えて頂くことにより、編集の中で細かに実現させることができます。

3. 文書作成について

- メールなどでよく使われる、1 行ごとの改行は決して行わないでください。改行は、文書の最後、段落のみに入れてください。

- 左右のマージンのかわりに、スペースを打ち込まないで下さい。文章中に不用意にスペースが入ってしまうことがあります。

4. 写真、図表について

- 写真・図表は、カラーでも白黒でもネガでもポジでも問題ありません。サイズも縮小拡大できます。尚、本文は白黒で印刷されます。

- デジタルカメラの場合には画像データを JPEG または TIFF 形式で CD-R に保存し、お送りください。解像度は 600 dpi 程度を推奨します。PowerPoint (PPTX), Excel (XLSX), Word (DOCX) または PDF 形式で保存したもので構いませんが、画質が落ちる可能性があります。出力紙からではきれいに再現できません。

- パソコンで作成された図表等は、デジタルデータとしてそのまま利用いたしますが、編集環境の違いにより、多少のずれが生じる場合がありますので、必ず良好に出力された用紙を添付してください。

5. 提出方法

- 御投稿いただく、ファイルは必ずコピーを取ってお送りください。貴重なデータを消失させないためにも、よろしくお願いいたします。

- 複数ファイルの場合には、必ず掲載の順番を明示してください。

承 諾 書

一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会殿

201 年 月 日

下記の論文を「日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌」に投稿いたします。
なお、下記の著作物の著作権は貴学会に帰属することを承諾いたします。

論 文 名：

筆頭著者：〈会員番号〉 〈氏名（署名・捺印）〉

印

〈所属〉

〈住所〉

共 著 者：〈氏名（署名・捺印）〉

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

* 投稿の際は必ず原稿に添付してください。

* 著者が複数の場合は全員の署名・捺印をしてください。

投 稿 票

日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌

論文種別： 総説 原著 短報 症例報告 臨床ヒント その他()

表 題：

略 題：

著 者 名：

会員番号：

連 絡 先：氏 名

所 属

住 所 〒

電 話

FAX

E-mail

原稿枚数： 表紙 枚, 要旨 枚, 本文 枚, 文献 枚, Abs. 枚
図 (写真を含む) 枚
表 枚
英文校閲 希望する 希望しない
別刷希望部数 部

* 受 付 日	年 月 日	* 審 議 結 果	受 保 否
* 修正稿受付日	年 月 日	* 掲 載	卷 号

* 欄は記入不要

投稿チェックリスト

貴稿が日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌投稿規定に沿ったものであるかを確認し、左欄にチェック（✓）してください。

- 投稿する論文は二重投稿ではない。
- 和文論文は A4 判用紙に 12 ポイント、25 字×30 行で横書きにワードプロセッサで印字し、頁番号はうってある。
- 常用漢字（学術用語など特殊なものを除く）、新かなづかいになっている。
- 原稿第 1 枚目を表紙とし、表題（対英訳をつける）、著者名（ローマ字表記をつける）と所属、略題（30 字以内）を記載している。
- 所属は公式の和文および英文名称で記載されている。
- 原著、総説、短報、症例報告には、800 字以内の要旨および Key words（3～5 語）を記載した邦文抄録を表紙の次頁につけている。
- 要旨は論文の大意がわかるよう、目的・方法・結果・結論の順に記されている。
- 原著、短報、症例報告には表題（25 語以内）、著者名、所属機関名、400 語以内の要旨、Key words（3～5 語）を記載した英文抄録を邦文抄録の次頁につけている。
- 英文は事前に専門家あるいは熟練者に校閲を受けている。
- 原著、短報、症例報告の本文は、緒言、材料（対象）と方法、結果（成績）、考察、結論、文献の順に記されている。
- 図は用紙サイズを揃えて通し番号をつけ、1 枚ずつ本文の後にまとめてある。
- 印刷寸法、カラー印刷、トレースを希望する場合には、その旨を本文欄外に朱書きしてある。
- 文献は所定の書き方で、引用順になっている。
- 文献を引用した場合、本文中の著者などの肩に文献番号をつけてある。
- 論文中「著者らは」という形で文献を引用せずに、筆頭著者名を記載している。
- 著者および共著者はすべて一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会会員になっている。
- 原稿の終わりに「著者への連絡先」として、代表者氏名、住所、電話番号、Fax 番号、e-mail アドレスを記載している。
- 論文投稿時には投稿票、投稿チェックリスト、承諾書が揃っている。

電子メール投稿の場合

- 正原稿および副原稿は Microsoft 社の Word（DOCX）または PDF 形式で保存されている。
- 図表は Microsoft 社の PowerPoint（PPTX）、Excel（XLSX）、Word（DOCX）または PDF 形式で保存されている。解像度の低下により判別が難しくなるものについては、JPEG または TIFF 形式で別に保存されている。
- すべてのファイルの合計は 10 MB 以内になっている。

郵送の場合

- 原稿は正原稿 1 部と副原稿 3 部（図表、英訳、和訳共）揃っている。
- 原著、短報、症例報告には、表題（25 語以内）、800 字以内の要旨および Key words（3～5 語）、著者名、所属機関名を保存した CD-R を同封している。

研究倫理および利益相反に関するチェックリスト

貴稿が研究倫理に沿ったものであったかを確認し、左欄にチェック（✓）してください。

倫理委員会の審査、承認について

- 原稿内容は投稿規定の倫理規定に準拠し、当該施設に倫理委員会等がある場合には、その承認を受けた旨を本文中に明記した。

研究実施計画について

- 研究で得られた個人情報について、匿名性および秘密保持を行った。
- 研究参加を強要しないように配慮した。
- 研究参加者および家族への心情に配慮した。
- 依頼事項は研究目的の遂行上、必要不可欠と認められたものだけに限った。
- 研究参加者の安全性や危険性に配慮した。

研究参加の依頼について

- 研究目的、手順、参加方法を説明した。
- 研究に伴う不快と危険、利益と不利益について説明した。
- 予想される精神的、身体的な負担に対する対処方法を説明した。
- いつでも研究参加の取り消しが可能であり、それに伴う不利益がないことを説明した。
- 研究参加についての質問にはいつでも応えられることを説明した。
- 研究結果の公表方法と個人のプライバシーの保護、匿名性、秘密保持を説明した。

研究参加者の「同意」について

- 「同意書」を準備し、同意書には、研究者から十分な説明の上で同意した旨の文言を記した。
- 同意書には、日付欄および研究参加者の署名と説明者（氏名、連絡先、所属）の署名を記した。
- 研究参加者の自立度に応じて家族の同意を得た。
- 同意書は同じものを2通用意し、研究参加者と研究者がそれぞれ保存した。

利益相反（COI）について

- 著者全員の「投稿論文に関わる利益相反（COI）自己申告書」を提出し、論文末尾（引用文献リストの前）にCOIを明記した。

☆チェックされない項目については、簡単な理由書を論文投稿時に添付してください。

投稿論文に関わる利益相反(COI)自己申告書

著者氏名(全員): _____

筆頭著者所属(略称可): _____

投稿論文題目: _____

* 著者全員について、論文内容に係る企業・組織や団体との COI 状態を記載してください。配偶者、一親等の親族、収入・財産を共有する者が COI 状態に該当する場合は、「該当者氏名(発表者との関係)」のように記載してください。

* 申告対象期間(西暦): 年 月 ~ 年 月

申告すべき事項【申告の基準】	該当の有無 (○印を付す)	有の場合、①該当者氏名、②該当事項の概要、③金額、④企業・組織や団体名などを記載してください。
1. 報酬額【1つの企業・組織や団体から年間100万円以上】	有 ・ 無	
2. 株式などによる利益【1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有】	有 ・ 無	
3. 特許権使用料【1つにつき年間100万円以上】	有 ・ 無	
4. 講演料【1つの企業・組織や団体から年間50万円以上】	有 ・ 無	
5. 原稿料【1つの企業・組織や団体から年間50万円以上】	有 ・ 無	
6. 研究費・助成金などの総額【1つの企業・組織や団体から著者が所属する講座あるいは研究室などに支払われた総額が年間100万円以上】	有 ・ 無	
7. 奨学(奨励)寄付金などの総額【1つの企業・組織や団体から著者が所属する講座あるいは研究室などに支払われた総額が年間100万円以上】	有 ・ 無	
8. 企業などが提供する寄付講座【企業などからの寄付講座に所属している場合に記載】	有 ・ 無	
9. 旅費、贈答品などの受領【1つの企業・組織や団体から年間10万円以上】	有 ・ 無	

(注1) 本 COI 自己申告書に書ききれない場合には別紙に記載ください。

(注2) 本 COI 自己申告書は申告日から2年間保管されます。

申告日(西暦): 年 月 日

筆頭著者氏名(自筆署名) _____ (印)